学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校で学んだ知識を活かしつつ書道における基礎的な技術、技法を学習します。
・古典作品など、臨書を通してさまざまな書表現を学びます。
・クラスメイトと作品を鑑賞しあう中で、それぞれの見方、感じ方の違いを共有し、表現に対する理解を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現方法や多様性を理解するとともに書写能力の向上を図り、基礎的な技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさを考え、意図に基づいて構想し表現を工夫することができるようにする。また鑑賞活動を通して書の美しさを創造的に味わうことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
書に関心を持ち、主体的に幅広い活動に取り組み、書を通して心豊かな生活や社会を創造していくことができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ・書の基礎的な知識に基づいて書を味わうことができる。	・書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	漢字の書	・国語科書写と芸術科書道 ・漢字の変遷とさまざまな書体	a:書写と書道の類似点・相違点、漢字の変遷と書体について理解している。 b:書道の類似点・相違点について理解し違いを表現できている。 c:書写と書道の類似点・相違点、書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート	提出作品	鑑賞プリント
	漢字の書	・楷書の学習 孔子廟堂碑、九成宮醴泉銘、雁塔聖教序、顔氏家廟碑 ・創作作品	a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を身につけている。 b:古典の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風・構成などを工夫して表現できている。 c:各古典を鑑賞し、それぞれの特徴を理解し、よさや美しさを味わっている。	ワークシート 提出作品	鑑賞プリント 提出作品	鑑賞プリント 振り返りプリント
ステージ2	漢字の書	・行書の学習 蘭亭序、風信帖 ・創作作品 ・相互鑑賞	a:行書の基本的な用筆方法を理解し、身につけ表している。 b:古典の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風・構成などを工夫して表現できている。 c:他生徒の作品を鑑賞し合い、そのよさや表現方法を感じ取ろうとしている。	ワークシート 提出作品	鑑賞プリント 草稿 提出作品	鑑賞プリント 振り返りプリント
	仮名の書	・仮名の成立、変体仮名の学習 ・古典を通じた仮名の学習	a:時代による仮名文字の推移と、万葉仮名、草仮名、女手、片仮名それぞれの性質、またひらがなと変体仮名の違いを理解している。 b:仮名の線質の特徴を捉え、それを表現するための用筆・運筆を理解し、表現している。 c:仮名の成立について関心をもち、古筆の鑑賞を通してそのよさや美しさを味わっている。	ワークシート	提出作品	鑑賞プリント 振り返りプリント

ステージ3	漢字仮名交じり書	・漢字(楷書・行書)、仮名を生かした漢字仮名交じりの書の創作	a:古典や古筆の学習を通して習得した、書体・書風や紙面構成、用具・用材による特徴を理解している。 b:題材から連想するイメージの違いや表現の工夫によって、多彩な書の表現が生まれることを理解し、それぞれの表現のよさを味わっている。 c:漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	提出作品	ワークシート 草稿 提出作品	鑑賞プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度